

開催要項

1. 大会名 第36回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会 兼
第50回関東少年アイスホッケー大会神奈川県予選会
2. 主催 神奈川県アイスホッケー連盟(以下KIHFと呼ぶ)
3. 主管 KIHf 競技本部小中女子競技委員会・普及委員会
4. 後援 相模原市スケート協会
5. 開催期日 2024(令和6)年10月26日(土)～ 10月27日(日)
6. 会場 相模原市 銀河アリーナ(相模原市中央区弥栄3-1-6 淵野辺運動公園内)
7. 参加資格 神奈川県アイスホッケー連盟(以下KIHFと呼ぶ)
[小学生][中学生]に2024年度登録をしているチーム及び選手と役員
注1 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により
2024年9月30日までに県連宛到着したものを有効とし、大会出場を認める。
注2 大会参加費および日ア連登録費未納チームは本大会については失格とする。
失格となったチームは第36回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会
に参加資格を有しない。
注3 県内[少年]登録チームは所属する選手について、大会期間中は県内チーム間での
移籍は原則認めない。
注4 審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は
たとえ他チームに移籍しても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注5 不参加の連絡は、[info]の後に「@kihf.net」までmail連絡する事。
8. 参加チーム 【小学生高学年の部】
新横浜ジュニア、ヨコハマスターズ、L・P/B・B合同、
横浜パンサーズ/慶應ジュニア/ハセガワオーシャンズ合同
【中学生の部】
新横浜ジュニア、ヨコハマスターズ、横浜パンサーズ/L・P/ハセガワオーシャンズ合同
9. 参加申込 チーム参加を2024年8月19日迄に info@kihf.net 宛てに申し込み、
選手登録は2024年9月30日迄に日ア連 Face-Off システムにおいて完了させること。
10. 参加費 参加費中学生 99,000円、高学年 111,000円を下記口座へ
2024年10月11日(金)までに振り込むこと。
なお期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めない。
振込先：横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟 ハセガワ ノリヒコ
11. 審判団 KIHf レフェリー委員会 日本アイスホッケー連盟登録レフェリー
12. 競技規則 下記に記載するローカルルールを除き原則として
国際アイスホッケー連盟 (IIHF) 国際競技規則に基づく。
 - ローカル・ルール
 - a. 試合日程表の左側チームを仮ホームチームとし、ベンチは本部席より見て左側になる。
 - b. ホームの決定は、試合前のパケットスで決定する。(仮ホームが表裏を選択する)
 - c. ベンチには、GT2名・スケーター20名の計22名、役員8名まで入る事が出来る。
 - d. 同一チームの場合、ユニフォーム・ストッキングは同一とし、ヘルメット・パンツは同色のもの
で揃える事。
 - e. 合同チームの場合、ユニフォーム・ストッキングは同一が望ましいが、予備等を使用しても
揃えることができない場合は、大会本部に報告の上で各所属チームのユニフォーム・ストッキ
ングの着用を可とする。ただし、合同チーム内で背番号が重複しない事とする。また、各所属

チームのユニフォーム・ストッキングは同一のものとする。合同チーム内でヘルメット・パンツ色が異なることは許可する。なお、レフェリーの判断によりベスト着用を指示された場合は従うこと。

- f. タイムスケジュールの試合開始時間は、目安の時間としている。前の試合が早く終わった場合は最大で 15 分前倒しで試合を開始する。試合状況は事前に確認しておくこと。
- g. 参加チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償がある保険に加入しなければならない。
- h. オールメンバー表は試合開始 20 分前までに大会本部に提出すること。

13. 競技方式

・小学生の部、中学生の部ともに総当たりのリーグ戦とする。

14. 競技時間

【小学生高学年】

練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、各ピリオドインターバル 3 分。

タイムアウトはあり。

【中学生】

練習 7 分、各ピリオド正味 20 分、各ピリオドインターバル 3 分。

タイムアウトはあり。

【共通】

- 試合中点数差が 7 点ついた場合は、次のフェイスオフよりその試合終了までランニングタイムにて行う。その場合、試合終了 2 分前からはストップタイムとする。なお、点差が縮まった場合も継続とする。
- ランニングタイムでも次の場合は時計を止めるものとする。得点時には止める。レフリーがオフィシャルに報告しに来た時点で直ちにスタートする。反則発生時に入力のため止めるが次のフェイスオフからスタートする。選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーの指示があったときは止めるが、次のフェイスオフからスタートする。

15. 順位

【共通】

- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づけする。
- b. 勝ち点は、勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。
- c. 勝ち点が同一の場合、直接対決による勝利チームを上位とする。
- d. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、次の規定の順番で上位を決定する。
 - ・当該チームの対戦成績
 - ・当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの
 - ・全試合の得失点差の大なるもの
 - ・全試合の総失点の小なるもの
 - ・全試合の総得点の大なるもの
 - ・全試合のペナルティ回数的小なるもの

・小学生の成績 1 位から 3 位までのチームは、本大会参加チームとして第 50 回関東少年アイスホッケー大会に参加資格を有する事とする。

・中学生の成績 1 位と 2 位のチームは、本大会参加チームとして第 50 回関東少年アイスホッケー大会に参加資格を有する事とする。

16. オフィシャル当番

- A) オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。
- B) オフィシャル当番はスケート靴持参(6 名以上)で試合開始 30 分前に集合し準備を開始すること。
- C) オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。また、試合終了後 15 分以内にゲームシートを完成させること。

17. レフェリー

- 小学生高学年の部はレフェリー3人制で行う。
- 中学生の部についてはレフェリー4人制で行うことを原則とする。

18. スーパーバイザー

- ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき1名ずつスーパーバイザーを置く。
- スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、大会役員・レフェリー・オフィシャルと協調し、あるいは指示を出しその任に当たる。
- スーパーバイザーは、オフィシャルチームから1名派遣する。

19. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。
傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。
試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、スポーツ傷害保険に各チーム個別に付保すること。

19. 懲戒委員会

委員長：中島 透

委員：小野 真, 内田 貴典, 佐々木 暁, ほか1名

20. その他

- ・要項に記載されていない不測の事態が発生した場合は、KIHF 競技委員会にて別途協議する。
- ・秋季小学生低学年選手権大会については別日開催とする。